

水害を学ぶ

洪水は、こうして起こる

洪水の原因は雨です。早めに安全な避難場所へ向かうためにも、みなさんで雨の降り方を学んでみましょう。

でも洪水って、いつ起きるのかなあ？

いつ起こるかわからない、それが洪水。だから原因となる雨のチェックが大切なんだ！



ねえハザ吉、洪水が起るとどうなるの？

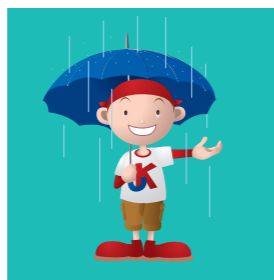


大雨で川の水があふれて、君たちの家や学校を水びたしにする、それが恐ろしい洪水だよ！

避難場所まで避難できる

やや強い雨

1時間に10~20mmの雨



地面からはね返りで足元がぬれます。水たまりが地面にたくさん現れ、話し声が聞き取りにくくなります。この程度の雨でも長く続く時は、注意が必要です。

強い雨

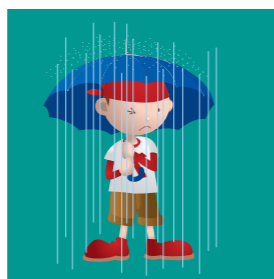
1時間に20~30mmの雨



どしゃぶりと言われる雨です。傘をさしても濡れてしまうほど強い雨で、側溝はあふれ、小さな川では、氾濫が起こります。また、がけ崩れの心配もあります。

激しい雨

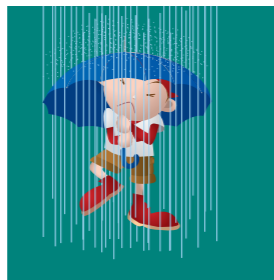
1時間に30~50mmの雨



バケツをひっくり返したような激しい雨です。川の氾濫や山崩れ、がけ崩れも起こりやすくなります。

非常に激しい雨

1時間に50~80mmの雨



滝のように降り、あたりは水しぶきで真っ白に。中小の川は増水、氾濫し、洪水の可能性が非常に高くなります。

猛烈な雨

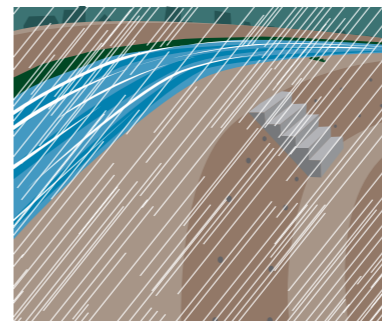
1時間に80mm以上の雨



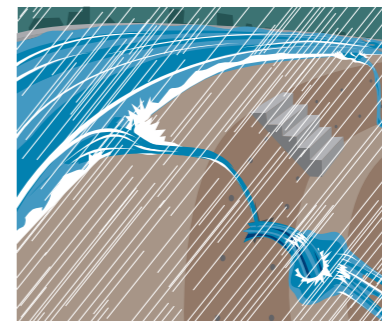
息苦しくなるような圧迫感があり恐怖を感じます。大規模な災害が発生する恐れがあります。

恐ろしい大洪水の可能性が
あります。

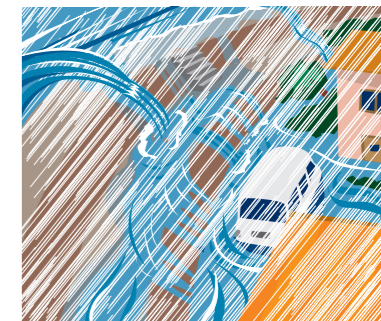
①堤防や土手の決壊で起こる洪水（外水氾濫※6）



大雨によって、川の水の量が増えはじめます。

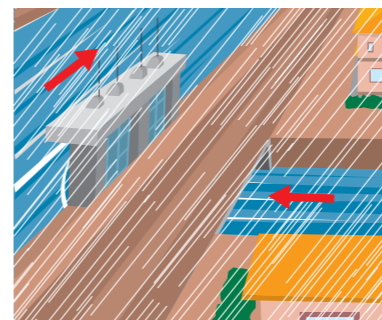


堤防からあふれる位に水が増えると堤防は崩れやすくなります。

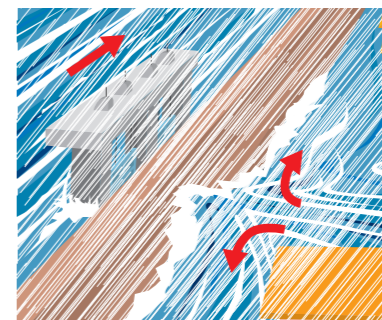


堤防の一部が決壊して、大量の水が家や車を押し流します。

②支流の水が本流へ排水できなくなって起こる洪水（内水氾濫※7）



街に降った雨は、通常雨水管などをとおって川に流れています。



しかし、大雨が降ると川の水位が上がり、水が流れず、街にあふれてしまいます。

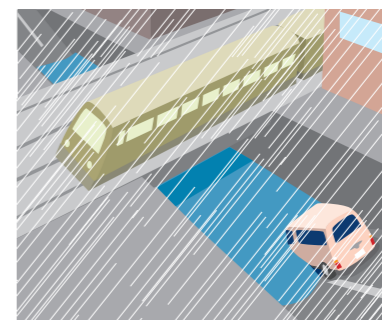


雨水管が流せる水の量を超える雨が降った場合にも、水があふれてしまいます。

③その他の原因による洪水



その他にも大雨で道路の側溝がつまったり、道路の低い場所に水がたまって洪水となることもあります。



豆知識

都市型水害

近年、都市部では都市化によって雨水がしみ込みにくくなり、局地的に強い雨が降ると、短時間のうちに水量が増えて側溝があふれたり、地下街が浸水したりすることが増えています。

山形市でも市街地を勢いよく水が流れ、アンダーパスにたまってしまいます。

※6 外水氾濫：川から水があふれ、氾濫することをいいます。

※7 内水氾濫：大雨によって川の水位が上がり、住宅地や田畑の雨水の排水が難しくなり、浸水することをいいます。